

	先史時代	古	代	
学区別	後期旧石器・縄文・弥生・古墳	飛鳥・奈良 (593～794)	平 安 (794～1185)	学区別
	中臣遺跡を中心として山科には遺跡が多い	天智天皇や藤原鎌足が山科に登場する	天皇や女御の御願社寺が山科には多い	
山 階				山 階
安 朱	安朱遺跡(縄文)	(飛鳥) 安朱遺跡 (奈良) 後山階陵たたら遺跡	848 安祥寺創建(仁明天皇女御の御願寺) 安朱古墓(木柳墓) 安祥寺上寺跡 871 藤原順子没(後山階陵)	安 朱
山階南	左義長町遺跡(弥生・古墳)		901～23 三之宮大明神創建(三之宮) 1160 白河寺創建	山階南
西 野				西 野
鏡 山	北花山遺跡(縄文)	657 山階寺創建	859～77 華山寺創建(清和天皇勅願寺) 868 元慶寺創建(清和天皇女御の御願寺) 880 慈徳寺(北花山)創建(圓融天皇女御の御願寺) 887 六所神社(北花山)創建(遍昭勸請) 890 遍昭没 986 花山天皇、元慶寺で出家	鏡 山
陵ヶ岡	須恵器窯跡多数(古墳) 日岡神明宮創建(日向大神宮)	(奈良) 御陵大岩町たたら遺跡	859～77 日岡神明宮修復(日向大神宮) 876 清和天皇、日向宮行幸(日向大神宮)	陵ヶ岡
音 羽		(奈良) 四ノ宮熊ヶ谷たたら遺跡	人康親王山荘跡 859 十禅寺創建(寺伝)人康親王開基 862 両羽大明神創建(寺伝)諸羽神社 872 人康親王没	音 羽
大 塚	芝町遺跡(縄文・弥生)	(奈良) 大塚遺跡 778 厳法寺創建(寺伝)法厳寺	807 白石大明神創建(白石神社) 859 十住心院創建(961～4 焼失)	大 塚
音羽川		662～9 若宮八幡宮創建(社伝)	1158 音羽荘設立(美福門院)	音羽川
勸 修	中臣遺跡(後期旧石器・縄文・弥生・古墳) 中臣十三塚古墳群(古墳)	(飛鳥) 中臣遺跡 (奈良) 中臣遺跡 711 折上神社創建(社伝)	908 折上神社社殿を藤原時平修理 1158 栗栖里の名初見	勸 修
大 宅	大宅遺跡(縄文) 岩屋宮創建(岩屋神社)(古墳)	(奈良) 大宅遺跡 (奈良) 大宅廃寺	900頃 大宅寺創建 1167 後白河上皇、山科御所へ	大 宅
百 々	旭山古墳群(縄文・弥生・古墳) 花山神社古墳		西野山古墓 859 万因寺創建(寺伝) 平安前期 福應寺創建(寺伝) 遍昭開基 897 山科神社創建(宇多天皇勅願) 903 花山稻荷神社創建(1183) 焼失	百 々
小 野	勸修寺旧境内(縄文・弥生・古墳)  中臣遺跡(弥生・古墳)		853 勸修寺八幡宮創建 896 藤原胤子没(小野陵) 898 宮道神社創建(社伝) 900頃 藤原胤子の生家を勸修寺とする 991 曼荼羅寺の前身である寺創建 1018 曼荼羅寺と号す 1101 大乘院創建	小 野
共 通		645 大化の改新 667 天智天皇近江京遷都 669 天智天皇山科野に狩猟 669 藤原鎌足没 671 天智天皇没 699 天智天皇陵修復 727 渤海国通信使 奈良街道通る 741 聖武天皇山科行幸	794 桓武天皇、山階野へ遊獵 801 桓武天皇、参議の紀勝長の山階宅行幸 804 山城国山科駅廃止 811 坂上田村麻呂没	共 通

\* 時代区分は『年表 日本歴史』による。

	中	世	
学区別	鎌 倉 (1185～1333)	南北朝・室町・戦国 (1333～1567)	学区別
		応仁文明の乱で社寺、民家も焼失 山科が最も栄えた時代(山科本願寺・寺内町)	
山 階		1338～42 地蔵寺創建(竹鼻) 1406 竹鼻より山科家へ茶を献上 1487 山科地下人、足利尊氏木像を地蔵寺安置 1499 蓮如上人没 当日晩景葬儀に数万人 1499 茶毘所の跡、蓮如上人御廟所	山 階
安 朱	1227 来迎寺創建 安朱遺跡	1377 安祥寺寺務を高野山が兼務 (南北朝) 安祥寺上寺は廃絶したらしい 1415前 安祥寺村・朱雀村	安 朱
山階南	1322 佛光寺創建 1324 佛光寺を興正寺と改称 1330 興正寺を東山渋谷に移し、佛光寺と改称	1396 三之宮大明神再興(三之宮) 1396 後小松天皇より大般若経600巻下賜(三之宮) 1488 眞光寺創建 1544 西雲寺創建	山階南
西 野		1478 蓮如上人、山科に本願寺造営を始める 1480 山科本願寺御影堂建立 1481 西宗寺創建 1483 山科本願寺阿弥陀堂建立(瓦葺) 1520 山科本願寺、庭、屋敷、人々の目を驚かす 1532 山科本願寺焼失	西 野
鏡 山	1234 當麻寺創建(寺伝) 1327 竹鼻氏(御陵)が代々天智天皇陵沙汰人	1468 元慶寺焼失(応仁の乱) 1508 光久寺創建 1558～70 阿弥陀寺創建(御陵) 1558 四手井城、初見	鏡 山
陵ヶ岡	1226 一切経谷町の名初見	1467 日ノ岡一帯が戦場(東岩倉合戦)	陵ヶ岡
音 羽		1441～4 十禅寺焼失 1468 両羽大明神焼失 1504～21 両羽大明神を諸羽神社と改称 1515 圓光寺創建	音 羽
大 塚	1264～75 左大臣藤原實雄山荘建立(小山) 1313 内海氏、牛尾山の太蛇退治(小山伝承)	1469 明教寺創建 1490 高水寺創建(日野富子山荘) 1521 白石庵に一源が住む 1521 円如上人没 1536(一説) 音羽村から小山村を分離	大 塚
音羽川	1300頃 大津皇子、粟津王の供養墓建立(若宮八幡宮社伝)	1382 音羽荘が醍醐寺領であった 1394～428 若宮八幡宮再建 1489 蓮如上人、山科本願寺南殿に隠居 1536 南殿光照寺創建	音羽川
勸 修		1420 栗栖野に山科地区最古の茶園 1495 法敬寺創建 1532～55 西楽寺創建	勸 修
大 宅	1187 源頼朝、京宅の地に大宅澤殿の下付要望 1191 山科御所再建 1192 山科御所と周辺地を後白河上皇が高階栄子に付与 1216 山科小野荘が冷泉教成の領有に 1262 岩屋神社再建	1525 實如上人没 1554 證如上人墓	大 宅
百 々		1345～50 花山稻荷神社復興 1543 六所神社創建(上山花山)	百 々
小 野	1229 隨心院、門跡寺院となる 1336 勸修寺、建武の動乱に堂宇炎上	1468 勸修寺八幡宮焼失 1468 隨心院焼失 1468 勸修寺焼失	小 野
共 通	1226 山科里の水田が1段銭20貫で売買される	1350～2 山科七郷の名が初見 1467 山科郷民、朝廷より表彰(禁中警固) 1477 山科郷民530余人に商業の免許札を付与 1480 山科郷民、土一揆に参加 1534 山科祭りが催される	共 通